家庭数配布プリント

しゅうさい

令和２年２月２０日
３月号
ＮＯ　１１
修斉小学校園だより

学年のまとめの時期になりました

暖冬が続き、厳しい寒さが影を潜めています。他方、毎年猛威を振るうインフルエンザに加えて、今冬は「新型ウィルス」のニュースが紙面を賑わせています。店頭にもマスクが不足しているということです。手洗いうがいの励行など、引き続き健康管理のご協力をお願いします。学校は、今年度もあと１ヶ月を残すところとなりました。子どもたちも職員もしっかり振り返りとまとめを行い、次年度につなげていきます。

☆新学習指導要領、４月からスタート

「学習指導要領」とは、文部科学省が定めている、小中高等学校でのカリキュラムの基準を示したものです。これにより、日本全国の小学生が、何をどの程度学習すべきかが定められています。ところが、時代の流れとともに、社会や環境の様子は変化していきますので、その変化に合わせて、学習指導要領も約１０年ごとに見直し、改訂されてきています。来る令和２年度は、その新しい学習指導要領がスタートする年になっています。（なお、改訂の年に「いきなりスタート！」となると、学校も子どもたちも戸惑うことが予想されましたので、本校では昨年度から少しずつその変化に対応するカリキュラムを組んでおります。）

☆何を学ぶの？

新しい学習指導要領のスタートに伴い、小学校では以下のような改訂があります。

まず、これまで５・６年生で行われていた「外国語活動」が「外国語」という一つの教科になり、時間数も週１時間から週２時間に増加されます。内容も、これまでは「聞く・話す」を中心に英語に慣れ親しむことがねらいでしたが、新たに「話す・書く」が加わります。同様に、３・４年生も「外国語活動」が新たに週１時間配当されます。これに伴いまして、週あたりの学習時間数も、３～６年生は１時間ずつ増えることになりますが、それについての詳細は「しゅうさい」来月号にてご案内します。

また、「プログラミング学習」も始まります。これは、コンピューターがプログラムによって働き、活用されているということを体験を通して学ぶものです。これは外国語のように、新たに教科として設定されるわけではなく、算数や理科や総合などの授業の中で、計画的に取り入れられていくものです。

さらに、本校ではすでに昨年度から取り組んでいることですが、道徳が新たに「特別な教科」となり、教科書がこれまでに増して充実したことや、通知表に文章表記の評価欄が加わったりしたことも、新指導要領の改訂ポイントの一つです。

☆どのように学ぶの？　何ができるようになるの？

これまでの学習指導要領では、「何を学ぶか」という学習内容に関する記述が中心でしたが、新学習指導要領では、それを「どのように学ぶか」、そして「何ができるようになるか」ということについても言及しています。すなわち、従来ありがちだった教師主導による講義型の授業を脱し、子どもたちによる「主体的・対話的で深い学び」を授業に取り入れていきます。そしてその結果、「知識・技能」を身につけ、「思考力・判断力・表現力」を向上させ、「学びに向かう力、人間性など」を高めていくことをめざしていきます。